

## 【ウィークリー・ウパニシャド サマリー 2月分】

4回目～7回目（2021年2月03日, 10日, 17日, 24日）

### 2月03日 ブラフマンとは何でしょう

講義のなかで、「真理」や「絶対の真理」という言葉を使います。このとき、みなさんは真理のイメージが来ないといけません。その為にまず、メモを取る、そしてそれを見返し、記憶して、思い出すことをしないといけません。そうしないと、段々進んでも、皆さんのレベルがあがりません。

真理とは何でしょう？ サンスクリット語で「ブラフマン」のことですが、バガヴァーンやアートマン等の言葉でも表現されています。ここでのアートマンは、「純粋なアートマン」という意味であることを覚えてください。同じように、ウパニシャドの学習においてブラフマンは「ニルグナ・ブラフマン」をイメージしてください。神（god）も沢山ありますが、最高の神（supreme god）のことです。

もう一つの表現として、satyasya-satyam（真理の真理）、最高の原理（highest principle）という言葉も時々使います。日本語では、絶対の真理、という言葉がウパニシャドで使われるブラフマンと同じ意味、定義です。しかし、同じ意味、定義を考えるなら、物より精妙な「存在」（entity）という言葉の方がイメージしやすいでしょう。

その存在（ブラフマン brahman）とは何でしょう？ 永遠（eternal）と無限（infinite）の存在です。

また、宇宙の源であり、基礎であり、その存在に戻ります。そして、絶対的です。絶対ですから変化することはありません。その存在（ブラフマン）は物質ではなく、どんな物質よりも偉大（mahat）な存在であり、また精妙（スークシュマ sūkṣma）なものより精妙な存在です。その他の特徴は、ブラフマンは物質ではなく、純粋な意識（pure consciousness）です。また、ブラフマンの本性を理解するとすべての物質の本性を理解できます。ブラフマンはすべての知識、平安、幸せの源です。ブラフマンを理解すると、恐れや不安がなくなり、自由で、至福、幸せになります。ブラフマンの事を理解すると、身、口、意が一つになります。悟ることで混乱がなくなり、疑いがなくなり、永遠の存在、知識、至福が得られます。

賢者は、精妙なものより精妙なブラフマンを知るには、私たちが、体、心、知性をきれいにすることで心と知性が純粋になり、精妙になっていくことで悟るという事を知りました。

### 2月10日 ウパニシャドの勉強の目的 ①

何かをする前に、その目的がはっきりしている人は、やる気ができます。私たちは、世俗的なサムスカーラの影響が強いので、何度も何度も真理のことを聞かないと霊的なサムスカーラが深くなりません。悟るためのやる気ができません。そうしないと無知が消えて知識があらわれません。ですからウパニシャドの勉強の目的（プラヨージャナム prajñanam）を知ることが必要です。

1番目は、tarati śokam ātmanā（タラティ ・ ショーカム ・ アートマ ヴィッド）

意味は、悟った人は（三つの）苦しみ悲しみを取り除き、超越します。

\*3つの苦しみ（ショーカム śokam）

ādhyātmika アーディヤートミカ：自分の体と心による苦しみ

ādhidaivika アーディダイヴィカ：自然災害による苦しみ

ādhibhautika アーディボウティカ：自分以外の生きものによる苦しみ

苦しみがなくなると楽になりますが、<sup>たの</sup>愉しみ（至福）の感覚とは少し違います。ヴェーダーンタの目的は、<sup>たの</sup>楽ではなく、<sup>たの</sup>愉しみ（至福）です。苦しみ悲しみを超越して、サット・チット・アーナンダ（絶対の至福）を得ることです。

ānando brahmeti vyajānāt （アーナンドー ブランメーティ ヴィヤジャーナート）

意味は、ブラフマンは至福です。至福からすべてが生まれ、至福によって維持され、死後は至福に戻ります。

—『タイッティリーヤ・ウパニシャド』

## 2月17日 ウパニシャドの勉強の目的 ②

### 2番目は、bhidyate hṛdaya granthi（ビッディヤテー・フリダヤ・グランティ）

意味は、ハート（フリダヤ）の結び目を切るということですが、その意識の結び目「cit jaḍa granthi（チット ジャラ グランティ）」とは何でしょう。意識と物質、実在と非実在、知識と無知の結び目を切るという意味です。

bhidyate hṛdayagranthiśchidyante sarvasaṁśayāḥ / kṣīyante cāsya karmāṇi tasmindr̥ṣṭe parāvare//

(muṇḍaka upaniṣad 2.2.8)

## 2月24日 ウパニシャドの勉強の目的 ③

### 3番目は、chidyante sarva saṁśayāḥ（チッディヤンテー・サルヴァ・サムシャヤーハ）

意味は、すべての疑いを切る（解決する）ということですが。

1. 深く内省すると、自分の本性について次のような疑いができます。

①私は肉体、感覚、心、知性だけ。②私は肉体、感覚、心、知性とアートマン。③私はアートマンだけであとは幻。といった疑問が起きます。

ナチケーターはヤマに質問しました。

「人が死ぬと、こういう疑問が起こります。ある人は、彼らは存在するといいい、またある人は、彼らは存在しないといいいます。あなたの教えによって、私は真実を知りたいと思います。」—『カタウパニシャド』

2. 人生の目的についての疑いができます。

3. 悟りの方法についても疑いができます。

4. 一般の人は実践しないのに、どうして私は実践しないといけないのかというも疑いもあります。

5. 宇宙についての疑いもあります。どのように宇宙はできたのか。

6. 宇宙の基礎、源は何かという疑いもできます。

7. 神様についての疑いもあります。

8. 神の本性についても疑いがあります。

9. どのように神を悟るかという疑いがあります。

10. 神と個人と宇宙の関係にも疑いができます。

普通の学者は、勉強のために勉強しますが、すればするほど混乱が増えます。しかし悟りのために勉強している悟った学者は、すべての疑いが消えます。

#### ウパニシャドの勉強の目的 ④

#### 4 番目は、kṣīyante cāsyā karmāṇi (クシーヤンテー・チャーッスヤ・カルマーニ)

意味は、勉強する人の全てのカルマが衰えて消えます。

\*カルマ (karma) には三種類あります。

サムチタ・カルマ (sañcita karma) 前世で積み重ねられたカルマのストック。これが来世を決めます。

プラーラブダ・カルマ (prārabdha karma) サムチタ・カルマの一部で作られた今生決められているカルマ。

クリヤマーナ・カルマ (kriyamāṇa karma) 今生になされる新たなカルマ。

\*ニルグナ…属性なきの意

\*サムスカーラ…前世から持ち越された傾向

\*説明に引用された節

- ・ tarati śokam ātmaivid… 『チャンドーッギヤ・ウパニシャド chāndogya upaniṣad 7.1.3.2』
- ・ bhidyate hṛdayagranthiśchidyante sarvasaṃśayāḥ /kṣīyante cāsyā karmāṇi tasmindr̥ṣṭe parāvare//  
… 『ムンダカ・ウパニシャド muṇḍaka upaniṣad 2.2.8』